

## 2016年3月期 第1四半期連結決算報告 (2015年4月1日～2015年6月30日)

- 無形資産償却前営業利益は前年同期と同様の水準、コスト削減は継続、個別開示項目は改善
- 北米と東南アジアは、好調を継続
- 南米は市場状況が低調に推移、ディスプレイは厳しい市場環境の影響を受ける
- 日本の業績は改善
- 欧州では緩やかな改善の兆しが見られる
- 通期業績見通しは変更なし

### 無形資産償却前営業利益は前年同期と同様の水準、コスト削減は進展、個別開示項目は改善

- グループ売上は、1,621億円で前年比4%増収（前年同期1,557億円）
- 無形資産償却前営業利益は52億円（前年同期51億円）
- 建築用ガラス事業は、売上647億円（前年同期601億円）、営業利益33億円（前年同期19億円）
- 自動車用ガラス事業は、売上831億円（前年同期806億円）、営業利益26億円（前年同期30億円）
- 高機能ガラス事業は、売上142億円（前年同期147億円）、営業利益2億円（前年同期16億円）
- 個別開示項目は6億円の損失（前年同期16億円の損失）

### 北米と東南アジアは、好調を継続

- 北米の建築用ガラス事業は、市場の成長により増収増益
- 東南アジアの建築用ガラス事業は、堅調なソーラー用ガラスの出荷により、好調を維持

### 南米は市場状況が低調に推移、ディスプレイは厳しい市場環境の影響を受ける

- 南米では、自動車用ガラス事業は引き続き低調な市場状況の影響を受ける一方、建築用ガラス事業はアルゼンチンの窯の定修により減益
- ディスプレイ用薄板ガラス市場では、競争が激化

### 日本の業績は改善

- 建築用ガラス市場は、エコポイント制度による好影響を享受
- 乗用車販売台数は減少しているが、当社は販売数量を維持

### 欧州では緩やかな改善の兆しが見られる

- 建築用ガラス市場に改善の兆し
- 西欧では乗用車販売台数が増加するなど、自動車用ガラス市場では回復の兆候が見られる

<2016年3月期第1四半期連結決算説明資料より抜粋>

連結損益計算書



(億円)	16年3月期 4月-6月期	15年3月期 4月-6月期	前年比
売上高	1,621	1,557	4%**
無形資産償却前営業利益	52	51	2%
償却費*	(21)	(21)	
営業利益	31	30	
個別開示項目	(6)	(16)	
金融費用(純額)	(42)	(45)	
持分法による投資損失	(1)	(2)	
税引前損失	(18)	(33)	
当期損失	(5)	(44)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(14)	(47)	
EBITDA	137	133	

\* ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却  
 \*\* 為替変動を除くと1%

改善している地域と低調な地域が混在

2015年7月31日 | 2016年3月期第1四半期決算報告